

Center for Integrated Research and Education of
Natural Hazards, Shizuoka University

静岡大学防災総合センター

〒422-8529 静岡県駿河区大谷836 大学会館1階
電話：054-238-4502 FAX：054-238-4911
URL：https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/

令和8(2026)年8月作成

静岡大学防災総合センターは、本学における防災教育及び防災科学研究を総合的に展開するとともに、地域と連携して地域の防災体制の向上に資することを目的として、平成20(2008)年度に設置されました。当センターの教育と研究を通して「地域志向大学」として地域社会への貢献を目指します。

静岡大学

【研究の役割】

地域密着型の防災研究の高度化
静岡県等の津波避難施設・津波災害の研究
富士山伊豆半島の火山・火口防災研究の展開
南伊豆半島の防災に関する基礎研究
自然現象による人的被害の軽減に関する研究
災害被害の利用・避避行動に関する研究
防災教育・こころのケアの研究 等

【人・社会の役割】

特定の地域、災害にこのようにする防災対策の育成【大学卒業生へ】
【静岡県防災フェロ―育成施設】 静岡市との連携推進
修了生、修習生から静岡市防災フェロ―（研究機関）に決定される。
体系的防災知識を有する人材の育成（教職課程・履修）
防災関係のマスコミ・専門機関【静岡大学の防災専攻】
プログラムを通じた、防災知識の活用を支援した後は、【静岡県
防災マスター（防災関係機関）】に認定される。

【地域連携の役割】

各行政の防災委員会への参画による専門的見解の提供
防災専門セブナメアの積極的参画による防災知識の普及
一連付け防災実践への協力、シミュレーション訓練・共同による研究推進

共同 → (一社)美しい伊豆創造センター

【研究の役割】
 ジオパークサイトの学術的研究
 地震・火山活動の即時被害把握の研究

【人材育成の役割】
 専門課程をもちジオパークガイドの育成
 教員課程レベル

【その他の役割】
 住民・観光客への防災知識普及と活動

静岡県立大学
 静岡大学
 静岡理工科大学
 静岡県立大学農学部
 静岡大学農学部
 静岡大学工学部
 静岡大学経済学部
 静岡大学法学部
 静岡大学文学部
 静岡大学理学部
 静岡大学医学部
 静岡大学歯学部
 静岡大学薬学部
 静岡大学看護学部
 静岡大学健康学部

地域社会が → 【防災研究センター】が、日本の地域防災の方向性を提示-示引-

※「防犯警備モデル」は、警備大学防犯総合センターが概念図として示したものです。

知識の普及・啓発につながる様々な情報を提供している

災害後の生活を保全する力

防災上の知識とスキル

Order 020 907 88 00, 04 46 78 7

2011年11月27日の大震災

静岡の大規模自然災害の科学

シンポジウム「レジリエント社会の構築 南海トラフ巨大地震への備え」(含Z.11)

地域社会

医療 防災 復興 支援

名古屋大学

静岡県立大学

静岡市

静岡県教育委員会

静岡県地方気象台

報道関係各社

常葉大学

静岡理工科大学

文化芸術大学

静岡 技術科学大学

豊橋 医科大学

三重大学

東海大学

東海大学防災研究コンソーシアム

名古屋工業大学

静岡大学

※本センターの事業「南海トラフ巨大地震想定地域の課題解決を目指した中核的防災人材等の育成と防災研究の推進」に、第四期中期計画、中期計画(令和4～9年度)のミッション実現加速化経費が予算措置されています。